

買い物弱者 への支援は？

吉原議員

町長

体制づくりを 進めていく



【吉原】 日常の買物が困難となつて、いる高齢者を支援するためのマニュアルを経済産業省が発行し、先進事例も紹介している。

【町長】 近年、「買
い物弱者」への対策
が社会的にも大きな
課題となつてゐる。
町で実施してゐる
福祉タクシーや、公
共交通体系の取り組
みを充実させる。また
福祉団体や商工団体
と地域の力を結集した
総合的な支援システ
ムづくりの検討を行
つていく。

にはならず、福祉タクシーなどは、利用者への制約がある。全国には、廃校利用の店舗、移動販売車への助成などの事例もある。具体的な検討を進め、買い物弱者マップ作成に取りかかってはどうか。

【町長】集落のまちづくりを進めて行く中で、買い物が身近にできる体制づくりを考えていく。

異文化を尊重し、日本人の自覚をもつた児童生徒の育成が必要である。小中連携の取り組みや、主体的に進路を選択するキャリア教育など、学校教育をどう充実させていくか。

【教育委員長】

小学校の外国語活動は、中学校の英語学習につながる基礎となる。

吉原議員 教育委員長

学校教育の充実は？

教育委員長 支援していく

また、日本と外国の違いを知ることで、自国の文化・歴史・伝統などを改めて認識し、異文化を理解する教育を進める。

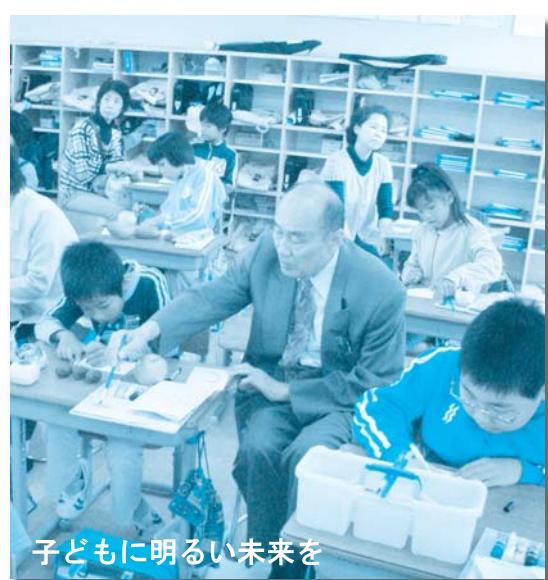
【吉原】 英語教育をは不十分であつた。さらに進めるために留学などを検討してはどうか。また、指導要領の中で、新聞教育が重要視されてゐるが、どのように推進していくのか。

小中連携の取り組みは学力向上が課題「小・中連携推進アドバイザー」に指導や助言をもらっている。キャリア教育は、中学校で取り組まれてきたが、小学校で

**国際人を育てると
いう視点でもよいことである。**

新聞教育も支援していきたいと思つて
いる。

【教育委員長】



【教育委員長】
くか。
小学校の外国語活動は、中学校の英語学習につながる基礎となる。